THREE TREES

最終下校時刻
１７：３０

三木町立三木中学校　生徒指導だより　　令和６年　２月１日発行

学習の診断！！　学年末テスト！！　テストづくしの２月！！

２月が始まりました。今月は１４日(水)に「学習の診断」、２０日(火)から始まる「学年末テスト」とテストづくしの期間となります。特に１、２年生の「学習の診断」は今年１年間の総決算となる試験で、試験範囲も広いため、計画的に取り組むことが重要です。３年生は最後の「学習の診断」です。公立高校受検者は１か月後に弾みをつけるためにも明確な目標のもと、先を見通して継続した学習を心がけましょう。

学習のポイントは次の５点です。

①　準備物を必ず用意し、先生の説明をよく聞き、ノートをきちんと取るなど、授業を大切にすること

学習の基本は授業です。１時間の授業を大切にし、授業内容を授業時間内に理解するよう心がけましょう。

②　最低でも(学年＋１)時間の家庭学習を確保し、毎日欠かさず実践すること

「学習の診断」は出題範囲が広く、学習内容を全て見直すといった意味から考えると、家庭学習の時間を確保して総復習することが大切です。十分な時間をとり、毎日こつこつと家庭学習に励みましょう。

③　要点（ポイント）を押さえた学習を心がけること

出題範囲が広く、全てを暗記することは難しいです。太字で書かれている語句を中心に、重要と思われるポイントを押さえ、ノートにまとめるなど、効率の良い学習を心がけましょう。

④　テスト発表期間の７日間を有効に活用すること

テスト発表期間の７日間は大切な時間です。提出物を仕上げるのに何日間費やし、学習内容の復習や理解にどれだけ時間を確保するか、また、暗記事項を覚えるためにテスト直前にどれだけ時間を使うかなど、あらかじめ具体的に決めておき、７日間という時間を有効に活用できるようにしましょう。

⑤　提出物を完全に仕上げること

提出物をきちんと仕上げて出すかどうかは、学年末の評定に大きく影響します。あらかじめ、何を提出しなければならないかを書き出したうえで、何をどの順番に仕上げていくかを具体的に計画し、提出日までに必ず全ての提出物を提出できるようにしましょう。

２月の目標：この学級でよかったと思えるようにしよう。

今の学級での生活も、残りあと２か月となりました。３月末に今の学級の生活を終えるとき、「この学級でよかった」と心から思うためには、この２か月間の過ごし方が重要です。ただし、一部の人だけが楽しんでいて、その他のクラスメイトたちが我慢をしているようだと、「この学級でよかった」とはなりません。また、楽しいことばかりだったから「この学級でよかった」となるわけでもありません。苦しいことや辛いことをクラスメイトと協力して乗り越えたり、成長できたりすることで、「この学級でよかった」と思うことができるはずです。これまでの１０か月間を変えることはできません。うまくいかないことが多かった人も、残りの２か月間でその経験をプラスに変えていき、心の底から「この学級でよかった」と思えるようにしていきましょう。

時間を守ろう!!

最近、朝7時５５分前後に急いで校門を通る生徒が増えています。ゆとりのない登校は事故のもとです。教室に入室して、７時５５分には荷物を片付けた状態で着席し、落ち着いた雰囲気で学校生活がスタートできるようにしましょう。２月は、最終下校時刻が１７：３０になります。部活動の練習時間や片付けの時間を考えて最終下校時刻までに校門を出るようにしましょう。

【トピックス】知ってる!?「節分」

２月３日（金）は「節分」です。毎年2月３日が節分だと思われている方が多いのですが、実は、そうではありません。「節分」というのは、「季節を分ける」という意味があります。季節の節目は、「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の4つで、「節分」は、「立春」の前日に位置づけられています。

「立春」は太陽の動きに基づいて決められているため、2024年は2月４日が「立春」で、「節分」は2月３日になります。

旧暦では、１年が「立春」から始まると考えられていたため、1月１日が「立春」で、その日の前日である大みそかが「節分」でした。しかし、江戸時代頃から、１月１日が年明けであることに価値を置きはじめたことから、立春は大体2月４日をさすようになったそうです。

季節の変わり目には邪気（鬼）が生じると考えられていて、それを追い払うために、「福は内、鬼は外」と声を出しながら福豆をまいたり、年齢の数だけ（もしくは１つ多く）豆を食べたりします。

豆まきは、鬼が都を荒らすのを、豆で鬼の目を打ちつぶし、逃れたという言い伝えから「魔目（まめ）」を鬼の目に投げつけて鬼を滅する「魔滅（まめつ）」という意味合いで行われるようになったものです。

また、「節分」には邪気除けに柊鰯（ひいらぎいわし）などを飾りますが、柊鰯は、柊の小枝と焼いた鰯の頭を門口にさしたものをいい、柊の葉のとげが鬼の目を刺すので門口から鬼が入れず、鰯を焼くにおいと煙で鬼が近寄らないといわれています。

ちなみに、恵方巻は、巻き寿司を節分の夜に、その年の恵方に向かって無言で、願い事を思い浮かべながら丸かじり（丸かぶり）するのが習わしとされています。今年の恵方は「東北東」です。

さて、あなたは「節分」にどんな願い事をしますか？